

関連資料 (授業改善ツール)

- 「学びの姿」について
- 単元・授業デザインMAP
- 子供の「自己肯定感の高まり」「学び・育ちの実感」の視点に立った授業デザイン
- 単元・授業プランシート
- 振り返りシート(授業における基本事項)

○学習指導要領に示された「学びの姿」のシートについて

学習指導要領に示された「学びの姿」	
支持的な風土・人間関係や環境を整える (P140)	
<input type="checkbox"/> 安心して自分の力を発揮しています (P93) <input type="checkbox"/> 適切な言語環境と好ましい教育的環境で過ごしています (P91・P96)	義務教育課 (注) 例は、関連する学習指導要領個別解説のページ
新しい時代に求められる資質・能力を育むために (P2)	
「何ができるようになるか」 (育成を目指す資質・能力 P2)	<input type="checkbox"/> 過去の学びと今日の学びを「関連付けながら」理解しています (P35) <input type="checkbox"/> 過去の学びと今日の学びを「活用し」「探究」に向かっています (P35)
「何を学ぶか」 (教育課程の編成 P2)	<input type="checkbox"/> 教科書を通して「学習の基盤となる資質・能力」を養っています (P49) <input type="checkbox"/> 「内容や学習の深まり」とともに「主体的な学び」の中で、資質・能力を形成しています (P68)
「どのように学ぶか」 (学習・指導の改善・充実 P2)	<input type="checkbox"/> 「主体的・対話的で深い学び」を通して、能力を育んでいます (P92) <input type="checkbox"/> 「意図・考え」を軸に、深い学びを意図しています (P77) <input type="checkbox"/> 「共通して振り返り」を通して学習意欲を育んでいます (P86)
「子供一人一人の発達をどのように支援するか」 (子供の発達を踏まえた指導 P2)	<input type="checkbox"/> 「ガイダンスとカウンセリング」を通して、自己指導能力を養っています (P93) <input type="checkbox"/> 「自分の特性」「学ぶこと」「自分の将来」をつなげキャリア形成を図っています (P98) <input type="checkbox"/> 個別的な指導方法・体制の「工夫改善」を通して、学習内容を確実に身につけています (P99)
「何自身に付いたか」 (学習評価の充実 P2)	<input type="checkbox"/> 「学習を振り返って次の学習に向かう」ことができます (P90) <input type="checkbox"/> 学習の進捗や学習の状況を確認しています (P91) <input type="checkbox"/> 進捗と振り返りではなく、「一人一人の成長」を大切に考えます (P91)
「実施するために何が必要か」 (理念を実現するために P2)	<input type="checkbox"/> コンピュータや教材・教具の活用により興味・関心を喚起しています (P83) <input type="checkbox"/> 学会、教科協会など教職員の研修等により適切な取組を行っています (P100) <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントを通して質の高い学習環境にいます (P118)

学習指導要領では「学びの地図」としての6点にわたってその枠組みを示しています。本シートは、現在取り組まれている様々な学校の教育活動を子供たちの姿で省察できるように、学習指導要領の枠組みに沿って要約・抜粋しました。

本シートを使って、日々の教育活動(学習活動・特別活動・諸活動等)を子供たちの学びの姿で見通したり、振り返りを行ったりすることは、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた一歩と考えます。本シートを手元に置いて、様々な教育活動の場面で積極的に活用しましょう。

○授業デザインを通して習慣化したい「学びの姿」のシートについて

授業デザインを通して習慣化したい「学びの姿」	
支持的な風土・人間関係や環境を整える	
子供は、安心して自分の力を発揮し、自己学習や自己決定の場を認められる場を通して生活によりよく適応し、豊かな人間関係と有意義な学習環境の中で過ごしています。	義務教育課 (注) 例は、関連する学習指導要領個別解説のページ
新しい時代に求められる資質・能力を育むために	
「何ができるようになるか」 (育成を目指す資質・能力)	授業前と授業後(単元前と単元後)の両方に、授業目標(学習のねらい)に向かって、 主体的に学ぶ姿 があります。
「何を学ぶか」 (教育課程の編成)	※ 授業目標(学習のねらい)・学習目標(単元目標)を踏まえて、3つの資質・能力の育成を図ります。 「内容」や「まとまり」の中で、3つの資質・能力の育成が図られ、前日の学びと今日の学びを結びつけながら、 自覚的に学ぶ姿 があります。
「どのように学ぶか」 (学習・指導の改善・充実)	自己の考えを広げ深める場面で、「意図・考え」を軸にしながら、 主体的に学ぶ姿 があります。 ※ やってみたい・解きたい・解決したいという意図・考えを軸に、授業の進め方を工夫し、 主体的に学ぶ姿 を促します。
「子供一人一人の発達をどのように支援するか」 (子供の発達を踏まえた指導)	共感的・変容的態度で友達と向き合い、教師と子供や子供同士の適切なコミュニケーションを通して 学び合う姿 があります。
「何自身に付いたか」 (学習評価の充実)	3つの観点から自己の学びや進捗の状況を確認し、 振り返りを通して学びの姿 を振り返ります。
「実施するために何が必要か」 (理念を実現するために)	学習内容を自分のものとして身につけよう、学習材・学習用具等を利用して自分にふさわしい 学び方や分り方を探る姿 があります。

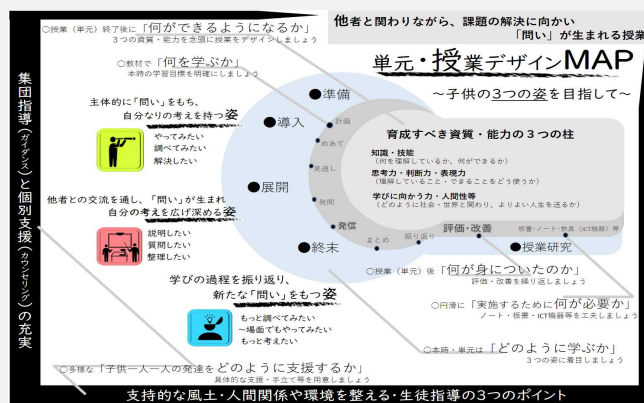
「学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ」「沖縄県公立学校教員等育成指標」「学習評価の在り方ハンドブック(文科省)」に照らし合わせて、授業実践を通して習慣化したい「学びの姿」を作成しました。

「授業デザイン」とは、三つの資質・能力の育成を念頭に、子供の実態に即して授業構想に工夫・改善を繰り返す実践を意図します。

「習慣化したい」とは、子供の発達の段階に応じた取組や支援を通して、期待する「姿」の定着を図ることを意図します。

本シートを使って、先生方が教科や学年・学校校種間を越えて子供の「学びの姿」を共有することは、学習の質を高める授業改善の取組に方向性を与え、活性化に繋がると考えます。日々の教材研究や教科会、校内研究等で積極的に活用しましょう。

○授業デザインMAPのシートについて



「学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ」では、方策1(質的授業改善)で単位時間だけでなく単元を見通しながら、三つの資質・能力を育む授業改善を推進しています。そこで、学習指導要領で示された「学びの地図」の6点の枠組みや、「問いが生まれる授業サポートガイド」で示す本県の「めざす授業像」「めざす子供の姿」を一体的に示し、俯瞰的な視点で授業改善・単元設計ができるよう「授業デザインMAP」を作成しました。本シートは、三つの資質・能力の育成を中心に、「学びの地図」にある6点の枠組みを示し、各場面(準備・導入・展開・終末・授業研究)の充実を通して「めざす子供の姿」の出現を想定したものです。

「めあて・見通し」などの各要素は、単位時間で順次的に完遂するという意図ではなく、授業目標に着目しながら各要素に濃淡をつけたり調節等を通して、本時の子供たちの主体的な学習活動を期待するものです。

子供の習得・活用・探究という学びの過程を充実させるには、単元を見通した多様な授業デザインが求められます。本県においても素晴らしい授業実践が各地区・各学校・各教科で成されています。本シートを使って、多様な授業実践の価値やよさに着目し、教科や校種間、キャリアステージ等の枠組みを越えて教職員同士の学び合いや自己研鑽等に繋げてほしいと願います。

例えば、前時の「振り返り」を通して、本時の学びに繋げる導入場面を工夫した授業デザインの考案や共有
 例えば、「振り返り」を充実させるため、「～をやってみよう」という「見通し」に留意した授業デザイン例の考案や共有
 例えば、どの場面で「学習目標にせまる子供の姿が出現したのか?」という授業研究場面の省察資料として活用すること等が考えられます。

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて日々の授業デザインの工夫・改善を通して「質的授業改善」を日常化しましょう。

支持的な風土(P97)・人間関係や環境を整える(P140)

安心して自分の力を発揮しています (P93)

適切な言語環境と好ましい教育的環境で過ごしています (P81・P96)

新しい時代に求められる資質・能力を育むために(P2)

「何ができるようになるか」
(育成を目指す資質・能力 P2)

- 過去の学びと今日の学びを「関連付けながら」理解しています (P35)
- 今日の学びを他の場面で「活用」し「探究」に向かっています (P35)

「何を学ぶか」
(教育課程の編成 P2)

- 教科学習を通して「学習の基盤となる資質・能力」を育んでいます (P49)
- 「内容や時間のまとまりを見通した計画」の中で、資質・能力を育んでいます (P68)

「どのように学ぶか」
(学習・指導の改善・充実 P2)

- 「主体的・対話的で深い学び」を通して資質・能力を育んでいます (P76)
- 「見方・考え方」を働かせ、思いや考えを基に創造しています (P77)
- 「見通しと振り返り」を通して学習意欲を育んでいます (P86)

「子供一人一人の発達をどのように支援するか」
(子供の発達を踏まえた指導 P2)

- 「ガイダンスとカウンセンシング」を通して、自己指導能力を高めています (P93)
- 「自己の特性」「学ぶこと」「自己の将来」をつなげキャリア形成を図っています (P98)
- 組織的な指導方法・体制の「工夫改善」を通して、学習内容を確実に身につけています (P99)

「何が身に付いたか」
(学習評価の充実 P2)

- 「学習を振り返って次の学習に向かう」ことができます (P90)
- 自分の良い点や進歩の状況」を実感しています (P91)
- 他者との比較ではなく、「一人一人の成長」を大切に考えられています (P91)

「実施するために何が必要か」
(理念を実現するために P2)

- コンピュータ等や教材・教具の活用により興味・関心を喚起しています (P83)
- 学年会、教科部会など教師間の情報共有により適切な配慮をうけています (P100)
- カリキュラム・マネジメントを通して質の高い学習環境にいます (P118)

授業デザインを通して習慣化したい 「学びの姿」

【プロジェクトⅡ 方策1・2・3・4・5】
【公立学校職員等育成指標】

支持的な風土・人間関係や環境を整える

子供は、安心して自分の力を発揮し、自己存在感や自己決定の場を与えられる場を通して生活によりよく適応し、豊かな人間関係と有意義な学習環境の中で過ごしています。

【プロジェクトⅡ 方策1・2・3・4・5】
【学習評価の在り方 ハンドブック】

新しい時代に求められる資質・能力を育むために

「何ができるようになるか」
(育成を目指す資質・能力)

授業前と授業後（単元前と単元後）の変容に、
授業目標（学習のねらい）に向かって、**主体的に学ぶ姿**があります。

※ 授業目標（学習のねらい）：○○の見方・考え方を働かせて、☆☆の活動を通して、□□の資質・能力を育成する

「何を学ぶか」
(教育課程の編成)

「内容」や「まとめり」の中で、3つの資質・能力の育成が図られ、
昨日の学びと今日の学びを結びつけながら、**自覚的に学ぶ姿**があります。

「どのように学ぶか」
(学習・指導の改善・充実)

自己の考えを広げ深める場面で、「見方・考え方」を働かせながら
試行錯誤する姿があります。 ※問いが生まれるサポートガイド「したい姿」参照（下欄）

※ やってみたい・調べてみたい・解決したい・説明したい・質問したい・質問したい・整理したい・
もっと調べてみたい・～の場面でもやってみたい・もっと考えたい

「子供一人一人の発達をどのように支援するか」
(子供の発達を踏まえた指導)

共感的・受容的態度で友達と向き合い、教師と子供や子供同士の
適切なコミュニケーションを通して**学び合う姿**があります。

※ 適切なコミュニケーション・・・承認する声かけ・奨励する声かけ・賞賛する声かけ 等

「何が身に付いたか」
(学習評価の充実)

3つの観点から自己の学びや進捗の状況を捉え、
自ら学習を振り返って自分の言葉で**身に付いた学びを語る姿**があります。

「実施するために何が必要か」
(理念を実現するために)

学習内容を自分のものとして身につくよう、学習材・学習用具等を利用して
自分にふさわしい**学び方や分り方を探す姿**があります。